**博士学位論文の本学学術情報リポジトリによる公開及び複写許諾書**

学位規則（昭和２８年文部省令第９号）により博士論文は学位授与後１年以内に公表することが義務付けられています。 2013年4月の同規則改正に伴い、聖隷クリストファー大学が学位を授与した博士論文は「聖隷クリストファー大学学術情報リポジトリ」での全文公開により公表し、学生個々が印刷物により公表する必要はなくなりました。やむを得ない事由がある場合は、学長の承認を得た上で、その事由がなくなるまでの間、博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができます。博士論文の複写許諾と合わせ、以下の事項について回答してください。

20年　　月　　日

聖隷クリストファー大学　　　　　　　　　　　　　　　　　　研究科長　様

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学籍番号 | |  |
| （フリガナ）  氏　名　（自署） | |  |
| 連絡先 | 住　所 |  |
| 電　話 |  |
| E –Mail |  |
| 論文題目 | |  |
| 学位記番号　　第　　　　　　　　　　号　　　　　　　　　　　　　学位取得年月日　20　　　年　　　　　月　　　　　日 | | |

１．聖隷クリストファー大学学術情報リポジトリによる博士論文の公表（学位取得後1年以内）についてチェック✔をしてください。

　□　やむを得ない事由がないため、全文公表を許諾します。

* 下記のやむを得ない事由により要約のみの公表を希望します。

2.やむを得ない事由とは、**学位授与後１年を超えて**インターネットで公表ができない内容を含む場合や不利益が

生じる場合です。

（1）やむを得ない事由として該当する事由をチェック✔し、その詳細を記入してください。

□　博士論文に著作権保護や個人情報に関連する内容を含んでいるため。

□　出版刊行、多重公表を禁止する学術雑誌等への掲載、特許の申請等との関係で明らかな不利益が生じ

るため。

□　その他（具体的に記入）

　　　　( )

（2）事由の詳細（右記の例を参考に必ず記入してください。）

（3）学術雑誌・出版社等に投稿する場合は、下記の①～④について記入して下さい。

①投稿先（予定含む）

②投稿予定日　　　 　　　　　　年　　　　月　　　　日

③掲載予定日 　　　　 　 年　 　月　　　　日

|  |  |
| --- | --- |
| ④やむを得ない事由がなくなる時期（予定） | 年　　　月　　　日　（必須） |

　　　　　 （3年を超えない期日を記入してください。）

３. 聖隷クリストファー大学図書館利用者の求めに応じて、上記の博士論文の2分の1以上を複写（電子的複写を含む）し、提供することに対する許諾についてチェック✔をしてください。

* 許諾します。
* 条件付で許諾します

【条件】　20　　　年　　　月　　日以降許諾します。

　　　　　　　　　その他条件：

* 許諾しません。

＊ただし、博士論文は、一般に公表されるべき著作物であるため、他の一般的著作物と同様、「著作権法　第31条」により著作権者の許諾がなくても2分の1未満は複写可能になっています。

|  |  |
| --- | --- |
| 主指導教員の承認 | 上記について承認します。  主指導教員氏名　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（自署） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 大学院委員会承認日 | 年　　　　　月　　　　日 | 猶予年月日 | 年　　　　　月　　　　　日 |

＜注意事項＞

1.特許等の申請予定がある場合の公開期限等に関する記入方法は、主指導教員と相談してください。

2.やむを得ない事由がなくなった時点で図書館事務センターまで必ず連絡をしてください。全文を公表します。

なお、再申請は、1回のみ1年限りとなります。

3.この許諾の可否にかかわらず、本学図書館には博士論文全文の電子データ及び製本した博士論文1冊を提出して

ください。（学位授与後2か月以内）

4.この許諾書は、学位論文の公開のため、著作権のうち複製権、公衆送信権について許可を得るためのものであり

著作権を委譲するものではありません。

5.この許諾に関しては、主指導教員の承認が必要です。

6.論文の公開にあたり、複製は、調査研究・教育または学習を目的としている場合に限定されることを明示します。

7.この許諾書に記載いただいた事項は、目的以外の用途には使用しません。

問い合わせ先 ： 図書館事務センター　TEL : 053-439-1416 E-Mail : cl-library@seirei.ac.jp

【2（2）の記入例】

**（要約のみ公表を希望する理由）**

1.個人情報に関連する内容があり博士の学位を授与された日から1年を超えてインターネットの利用により公表することができない為

2.図・表・新理論等が既に多重掲載を禁ずる学術ジャーナルに公表済みであり、博士の学位を授与された日から1年を超えてインターネットの利用による博士論文の全文の公表により、著者にとって明らかな不利益が生じる為。

3.主指導教員である〇〇教授は私と共同で本博士論文の内容を含む論文投稿及び特許出願を予定している為。

**（猶予希望）**

従って、上記の理由が消失するまで、全文公開の猶予を希望する。